

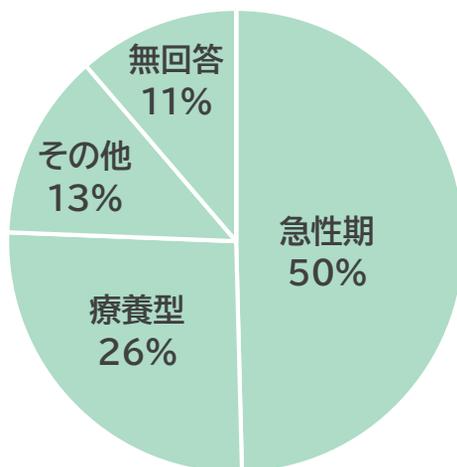


【報告書】

病院の設備と災害時の備えに関する調査(2019年度)

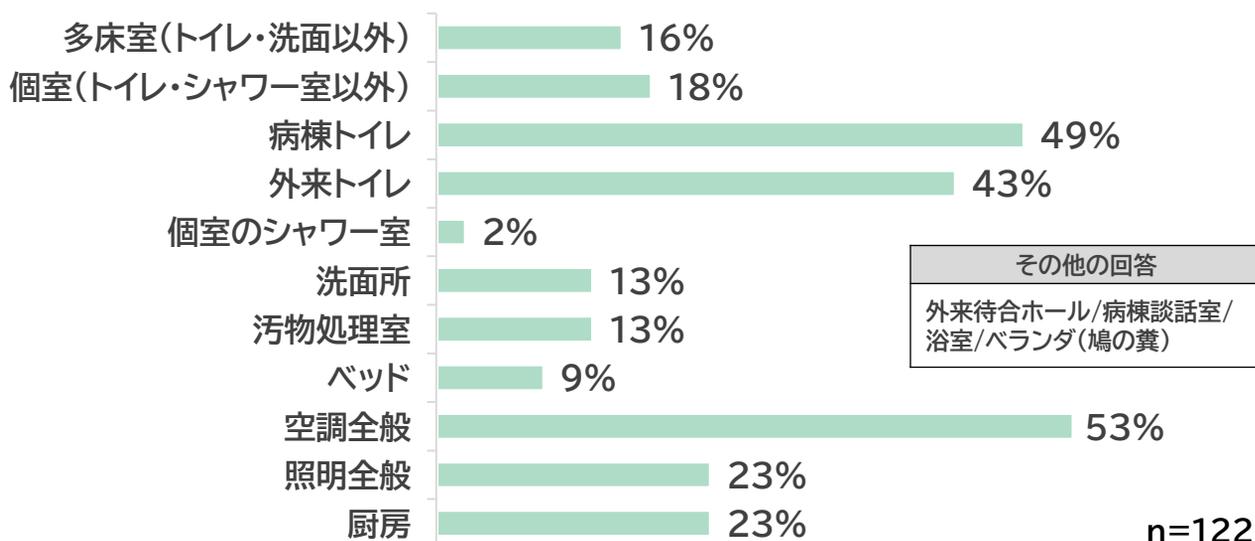
調査期間	2020年 1月～2月
調査方法	郵送調査
回答方法	WEB、FAX
調査対象	全国病院施設課4412施設、看護師4412施設
回答数	施設課n=123、看護師n=107

Q. 機能分類



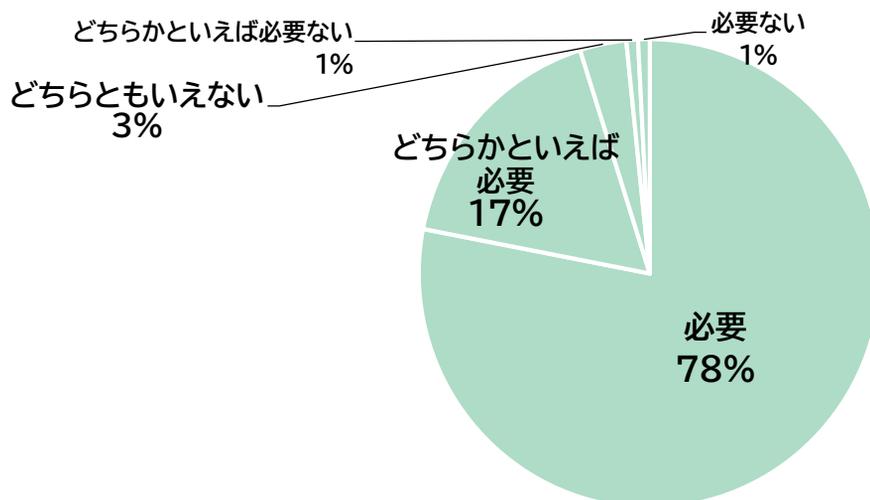
n=123

Q. 患者様のために施設改善が必要と思うところ（複数回答）



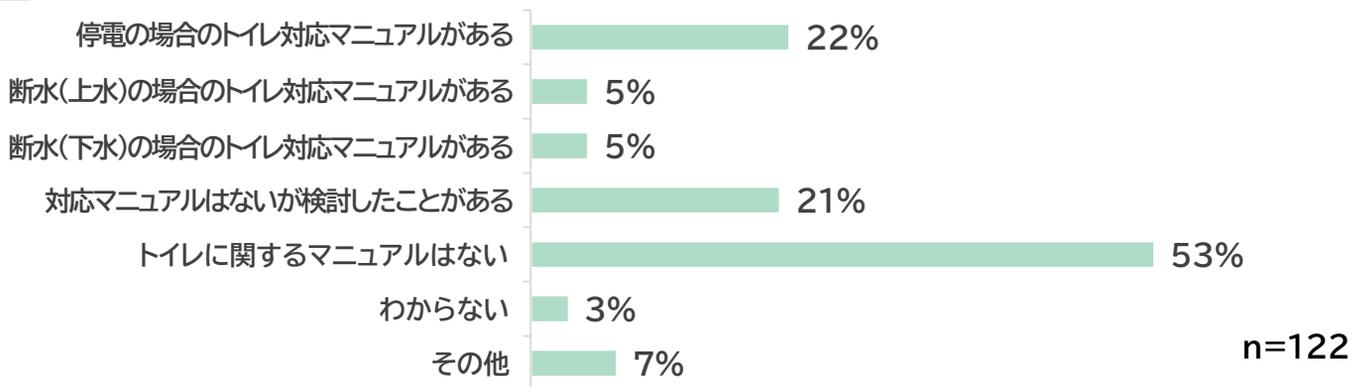
n=122

Q. 災害時のトイレの使用について検討の必要性



n=123

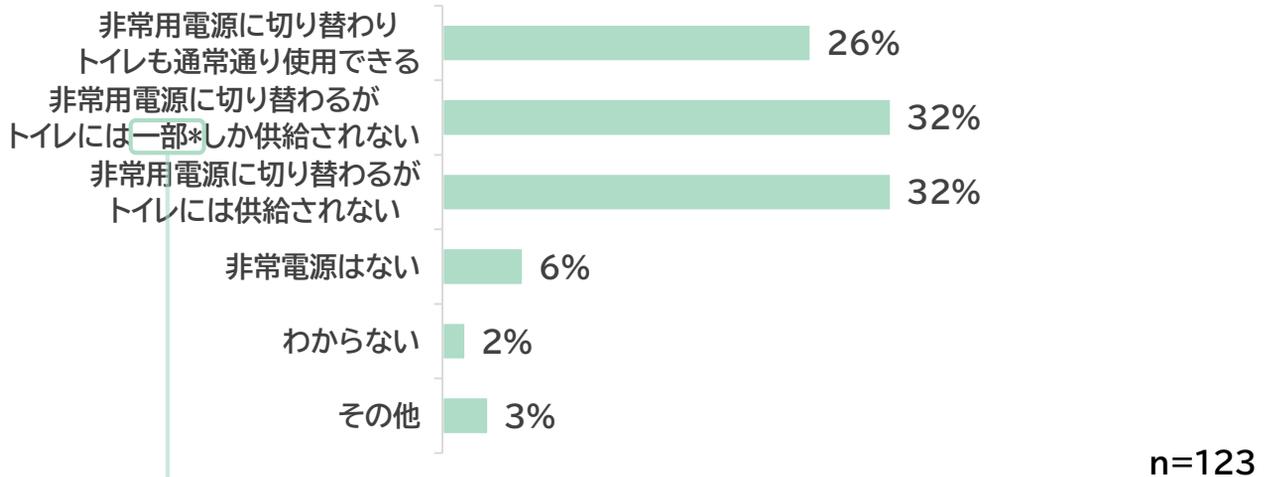
Q. 停電、断水(上水・下水)を想定したトイレの対応マニュアルの有無



その他の回答

防災マニュアル自体が無く、作成・検討段階/自家発電、井水も有る為対応できる/マニュアル(トイレ)はないが、災害マニュアル内に記載している/マニュアルはないが、非常時の使用方法については各トイレに掲示をしている/大型の非常用発電機を設置し、停電の影響はない/作成中/貯水槽・自家発があるので約2日間大丈夫/BCPのマニュアルに非常用のトイレパックの記載はあるが、マニュアルとしては無い/発電機により送電・揚水が可能

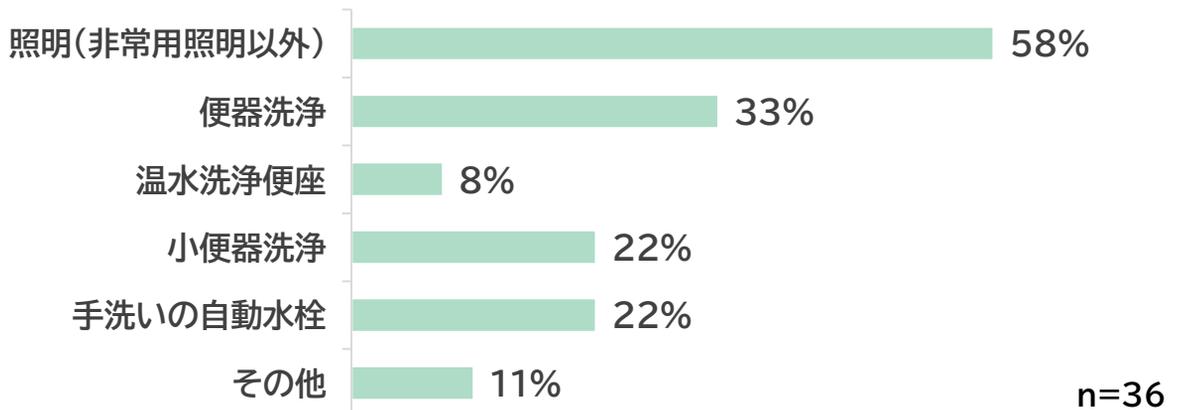
Q. 停電時のトイレの使用状態



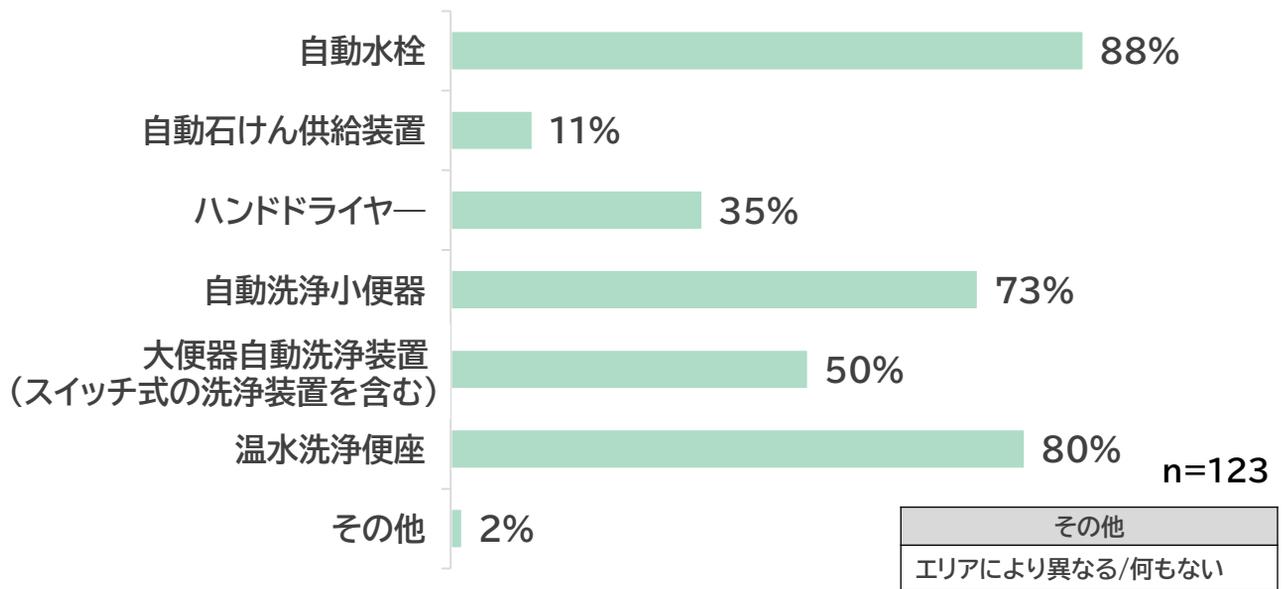
その他

水は供給される為、大便器は使用可、小便器は使用不可(自動洗浄が使用できない為)/水はきているがウォシレットの電源に自家発がきていないので手動スイッチで流す/全部非常電源に切り替えるが使用制限をする/トイレの場所により使用可否が分かれており、機能による区別はできない

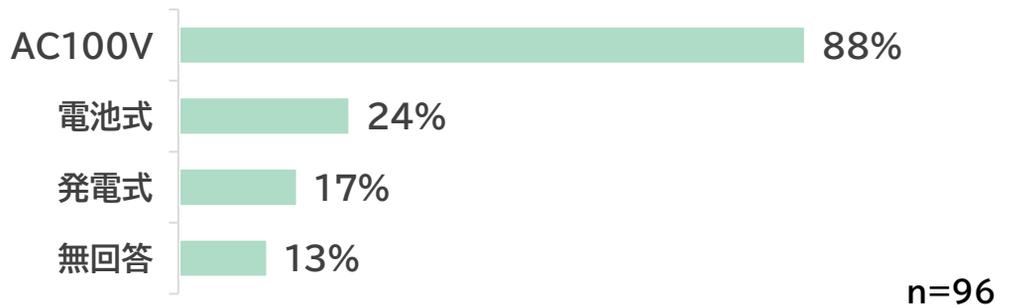
SQ. 前質問の「一部」とは



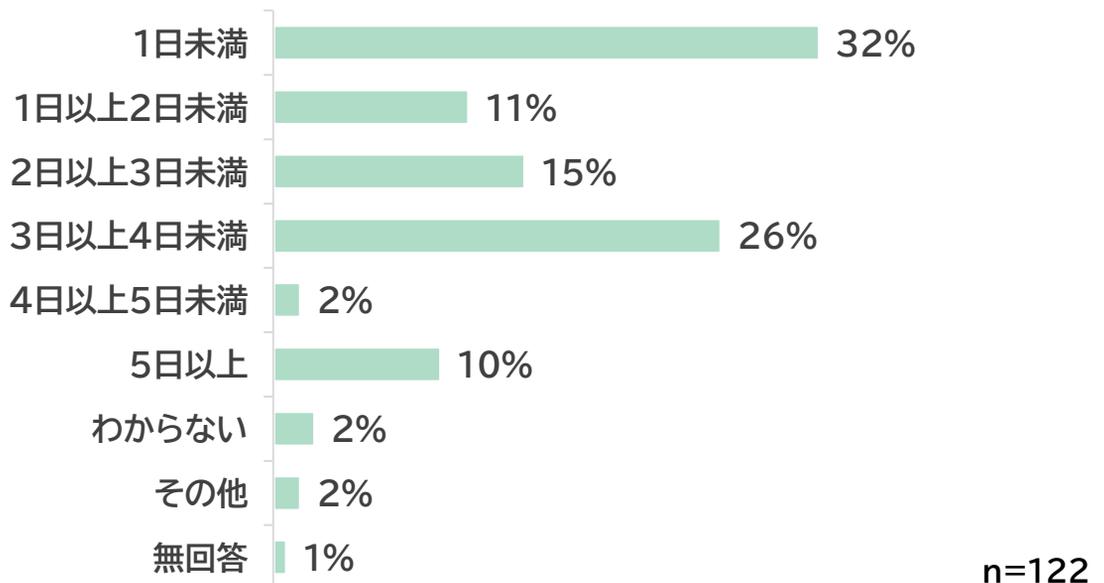
Q. トイレに電源の必要な衛生機器が使われているか



Q. トイレの自動水栓の種類



Q. 非常用電源は現在備蓄されている燃料で(通常の使用量で換算して)何日間稼働できるか

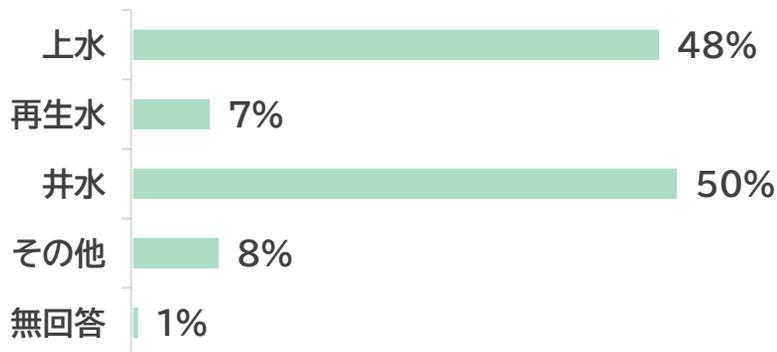


その他の回答

平常時はコージェネレーションシステム(都市ガスを使用し発電)供給停止後、LPGガスを利用して発電、ガスボンベの供給があれば継続して可能、供給がなければ12時間程度。

Q. トイレで通常使用されている水の種類

大便器

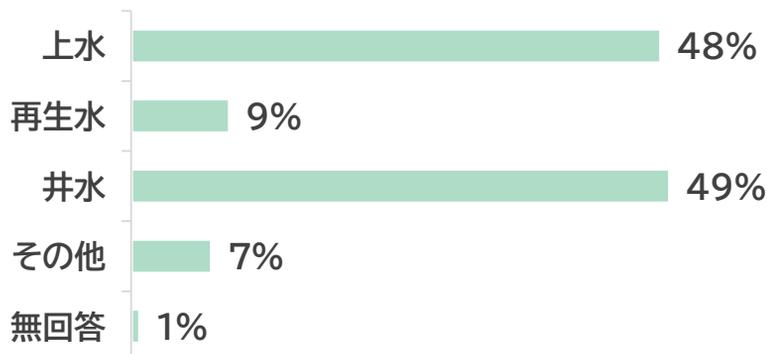


n=122

その他の回答

場所により再生水を使用している所と、上水・井水を混ぜたものを使用している所がある/雨水、井戸、上水混合/上水、井水混合/河川水/中水/雑用水+雨水(雑用水の元は上水で受ける受水槽が違う)/わからない

小便器

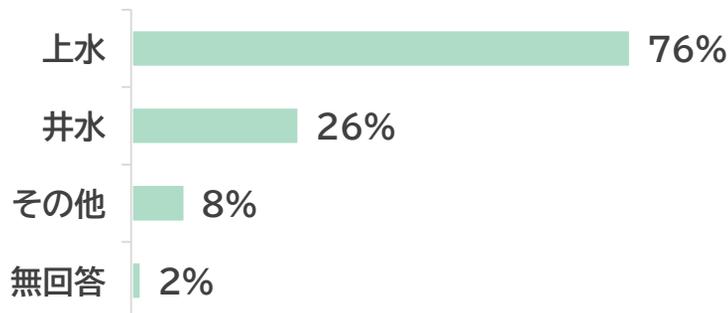


n=122

その他の回答

場所により再生水を使用している所と、上水・井水を混ぜたものを使用している所がある/雨水、井戸、上水混合/上水、井水混合/河川水/中水/雑用水+雨水(雑用水の元は上水で受ける受水槽が違う)/わからない

手洗器



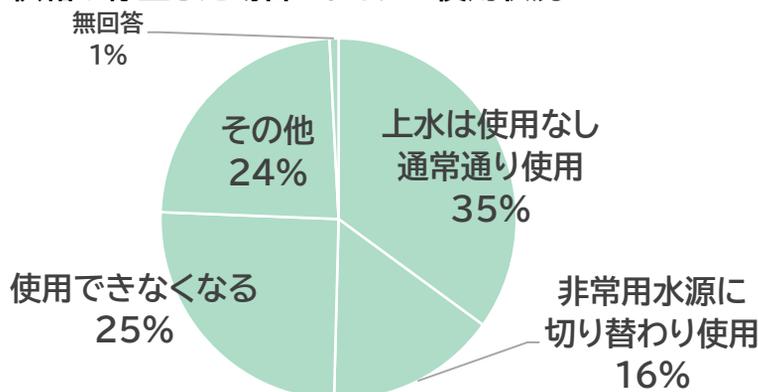
n=121

その他の回答

上水、井水混合/井水処理水

Q. 市水道等からの上水供給が停止した場合のトイレの使用状況

大便器

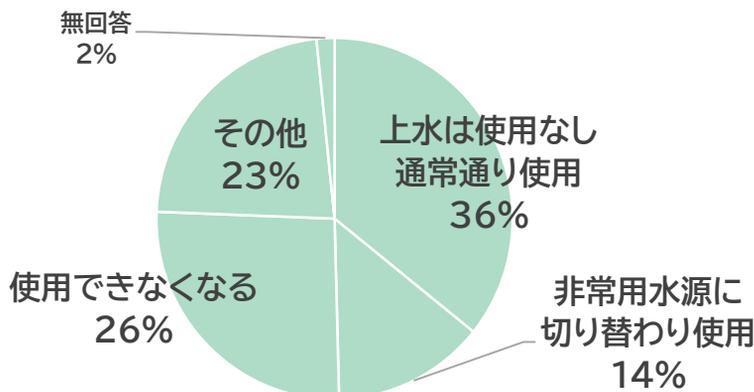


n=122

その他の回答

場所により再生水を使用している所がある/河川水/受水槽・高架水槽の水がなくなると使用できなくなる/貯水槽で一時対応できる/雑用水(雨水・井水)で一定使用可能/井水のみ切り換える/上水洗浄のトイレは使用できなくなる。井水洗浄のトイレは使用可/高架水槽に水があるうちは使用できる/給水車対応/オンサイト浄水設備(井水プラント)で1日の使用量の半分供給可市水道等からの上水供給が停止した場合のトイレの使用状況

小便器

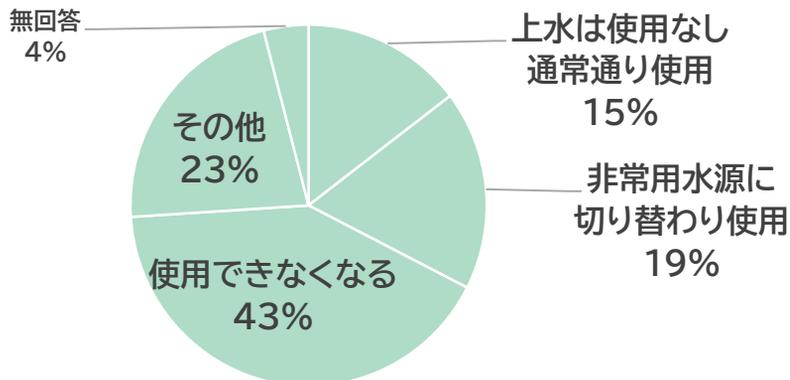


n=121

その他の回答

川水/受水槽・高架水槽の水がなくなると使用できなくなる/貯水槽で一時対応できる/雑用水(雨水・井水)で一定使用可能/井水のみ切り換える/上水洗浄のトイレは使用できなくなる。井水洗浄のトイレは使用可/高架水槽に水があるうちは使用できる/給水車対応/オンサイト浄水設備(井水プラント)で1日の使用量の半分供給可

手洗器

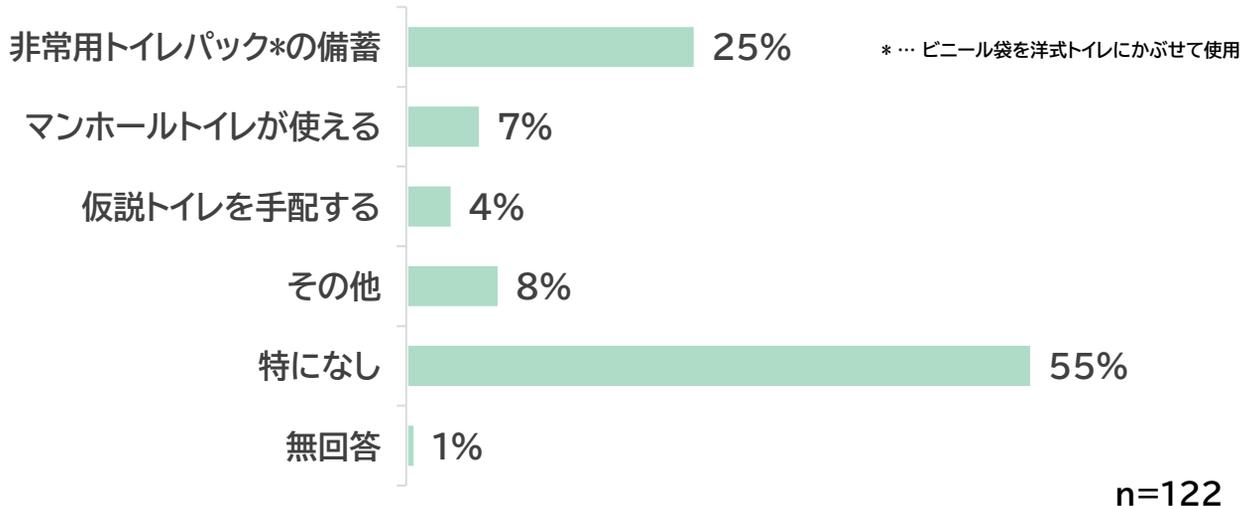


n=118

その他の回答

井水処理水で利用可能/受水槽・高架水槽の水がなくなると使用できなくなる/貯水槽で一時対応できる/雑用水(雨水・井水)で一定使用可能/井水のみ切り換える/上水洗浄のトイレは使用できなくなる。井水洗浄のトイレは使用可/高架水槽に水があるうちは使用できる/給水車対応/オンサイト浄水設備(井水プラント)で1日の使用量の半分供給可/自動水栓が作動しなくなる/非常用電源で揚水し供給可能

Q. 水洗トイレが使用できなくなった場合の備え（複数回答）



その他の回答

ポータブルトイレ/一部のトイレにおいて地下ピットへ汚水を貯留できる汚水槽設置/排水槽(災害、調整兼用)がある。3、5日分使用可能/熊本地震の際も使用できたが、病棟分に関しては協議中/水の備蓄/消防用ため池の水をバケツに汲んで流す/ポータブルトイレの使用

Q. 病院内でお気づきの課題や今後研究誌で取り上げるべき内容など(自由記入)

その他の回答

災害時の対応は考慮し、リスク管理手法を特集して欲しい。

温水洗浄便座の壁リモコンのスイッチが個々の機能ごとに大きく押しやすくなったが、押し込むストロークが大きく、精神科の患者のような雑な扱いをされると破損の心配が大きい。リモコンスイッチ(エコリモコン)の耐久性を通常のものと比較して、今の大きさとなったエビデンスを示して欲しい。

ICTからの理想とするトイレ等の環境提案に対し、コストや設備老朽化の面から、対処出来ない部分が多く、苦汁の念がある。

当院では行えていないトイレの設備が確認できる為、改修の時に意見ができるよう参考にさせてもらっています。今回のアンケート記入であらためて、災害時のトイレ対応準備が必要と感じました。

断水時、停電時等の災害時のトイレのマニュアルがあれば、ご提示頂ければ幸いです。

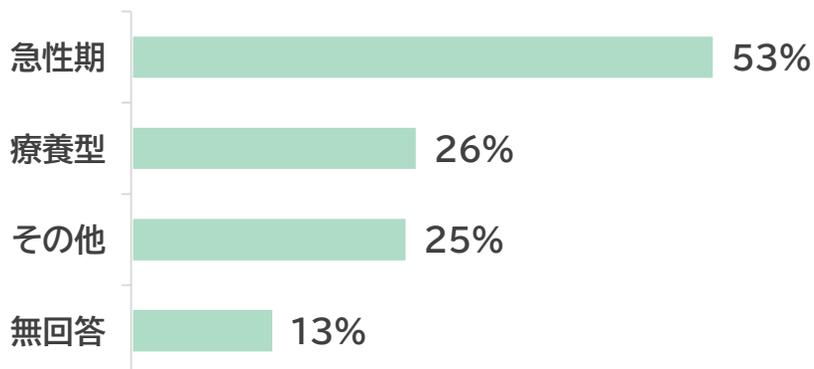
当院は、院内清掃業務を委託しているが、必要な清掃頻度や範囲・方法について検討していて、他院の状況を参考にさせてもらいたいと考えています。

精神科は一般科とは、少し勝手が違いますので、今後精神科(保護室)を取り上げていただきたいです。

温水洗浄便座の感染対応について。

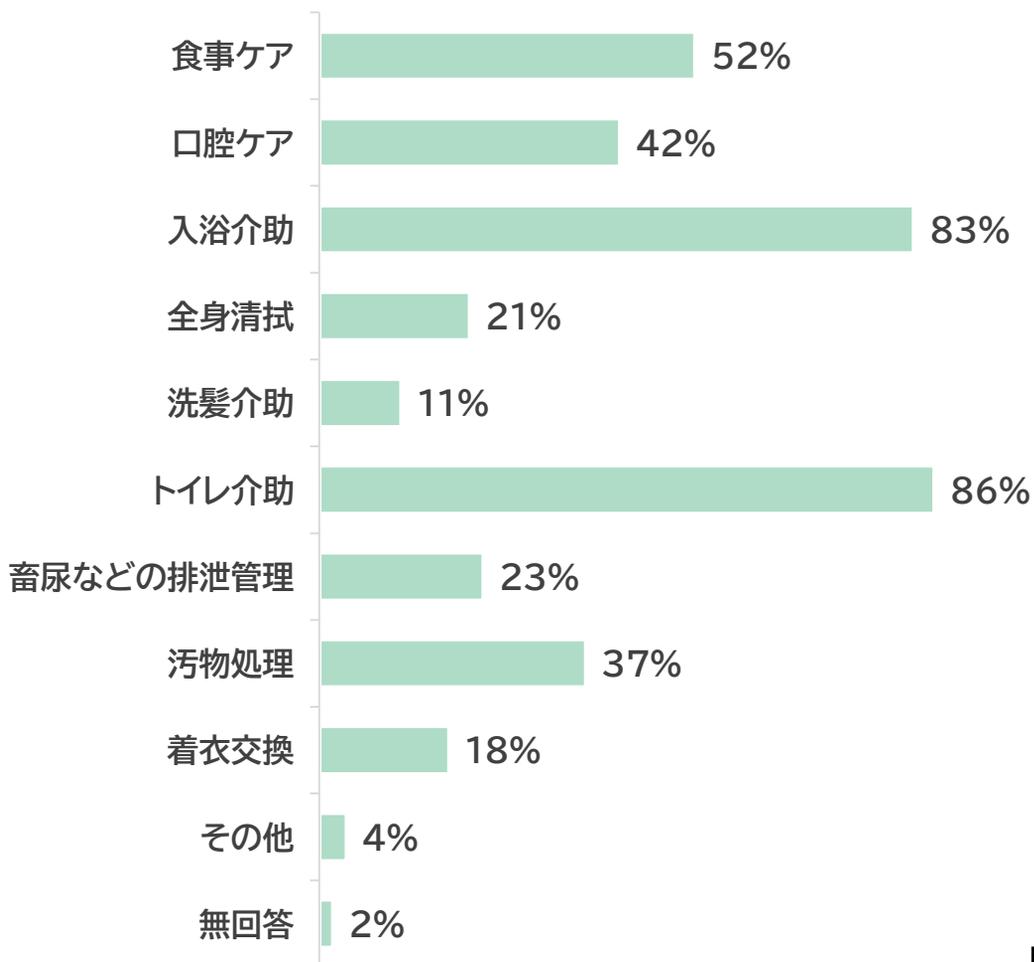
外来のトイレを改修中です。貴研究誌を参考にさせていただきました。

非常時の病院におけるトイレの対応事例。



n=107

Q. 生活介助で大変だと感じること（複数回答）

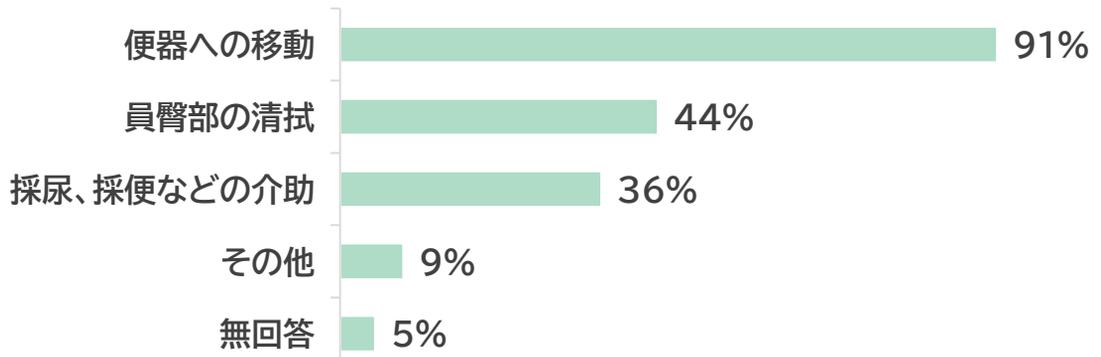


n=105

その他の回答

体位変換/移乗、移動、オムツ交換/移乗動作/介護度や認知力の程度によって大変と感じるときもあればそうでない時もある。

Q. トイレ介助で大変だと感じること（複数回答）

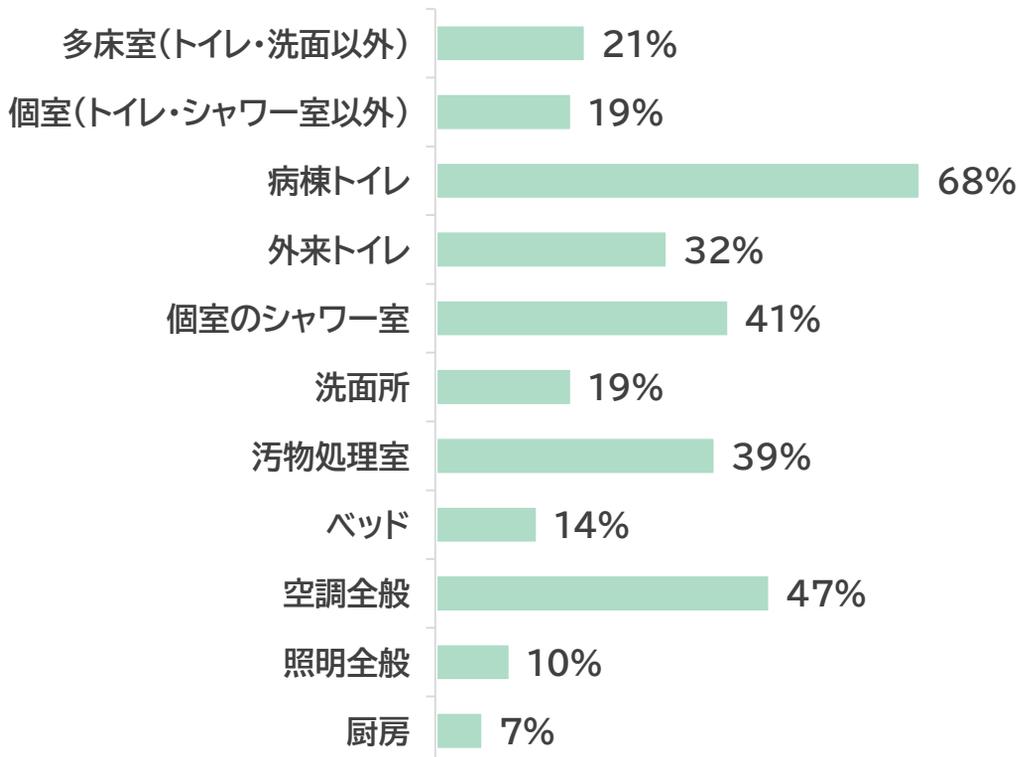


n=102

その他の回答

便座への移乗介助よりも一連の排泄援助が終わるまで患者さんを見守れないこと、夜勤等で少い人数でナースコールに対応していて離れる、見守りたいがプライバシーを考えると…等があり大変と思います/汚染時の交換・認知の方が多く、その場を離れる事が難しい時もある/トイレでの見守り、プライバシーへの配慮/下着の上げおろし/排便管理、オムツの着脱(立ったままでの)、移動してしまってから浣腸はできない、又ベッドにねかせる動作、立たせると液が出てしまう/パンツ(オムツ)ズボンの着脱/トイレ内で1人にした時の転倒リスクと、しゅう恥心への配慮/転倒防止のつきそい、見守り、支え-離れられない、中腰/オムツ交換

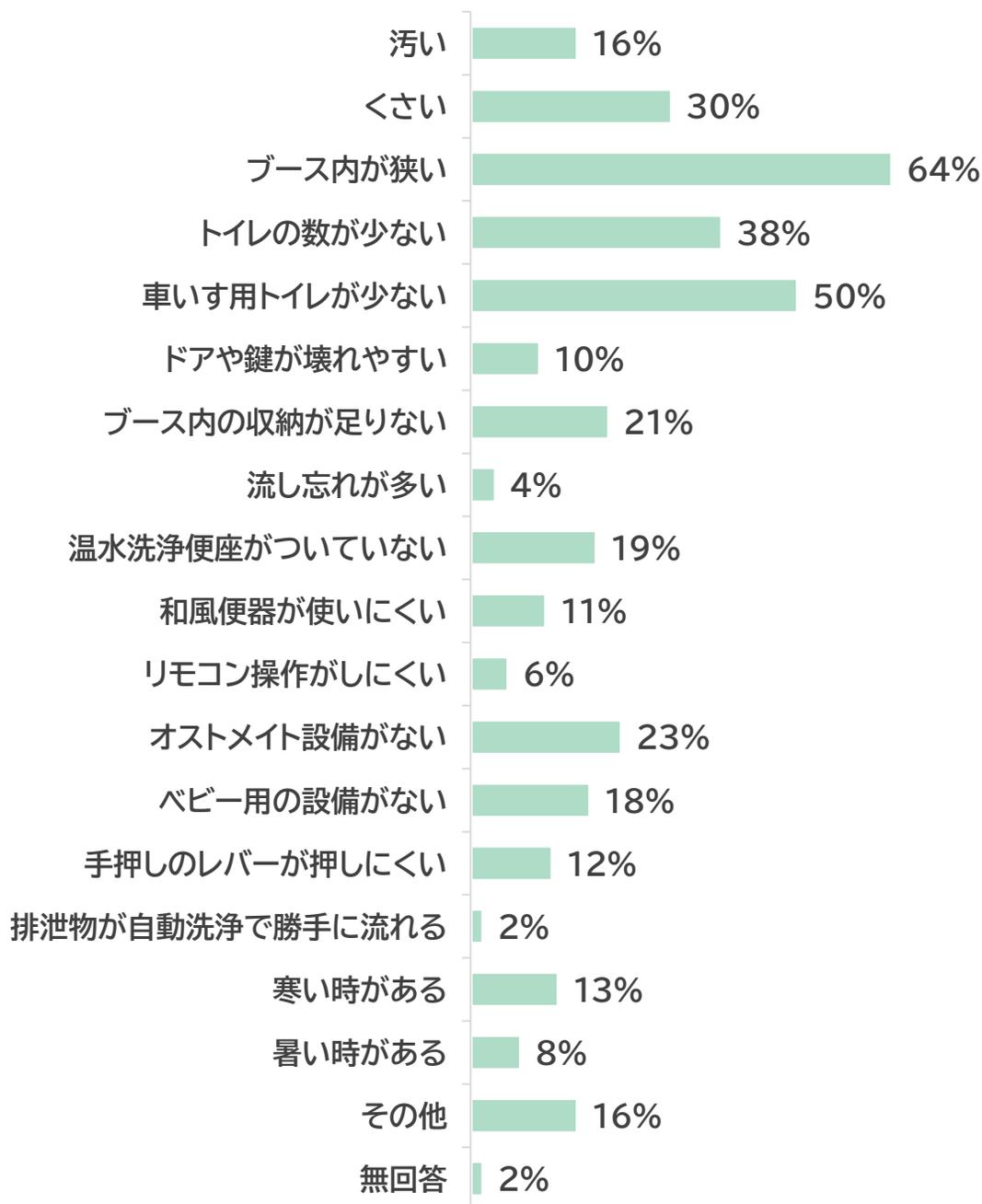
Q. 患者のために施設の改善が必要と思うところ（複数回答）



n=105

その他の回答

デイルーム、談話室、プライベートルーム等/エレベーター/施設全体/臭気対策

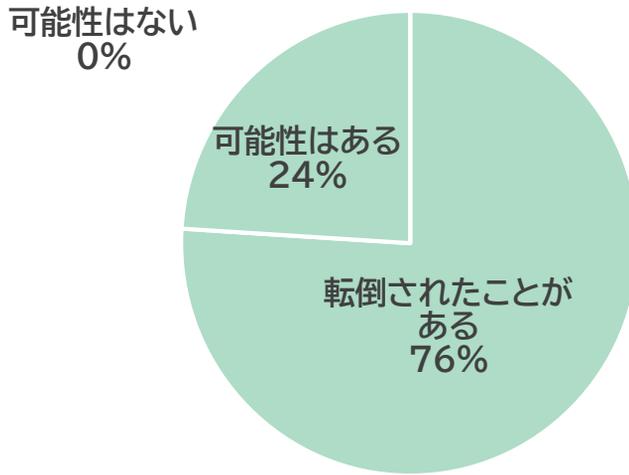


n=105

その他の回答

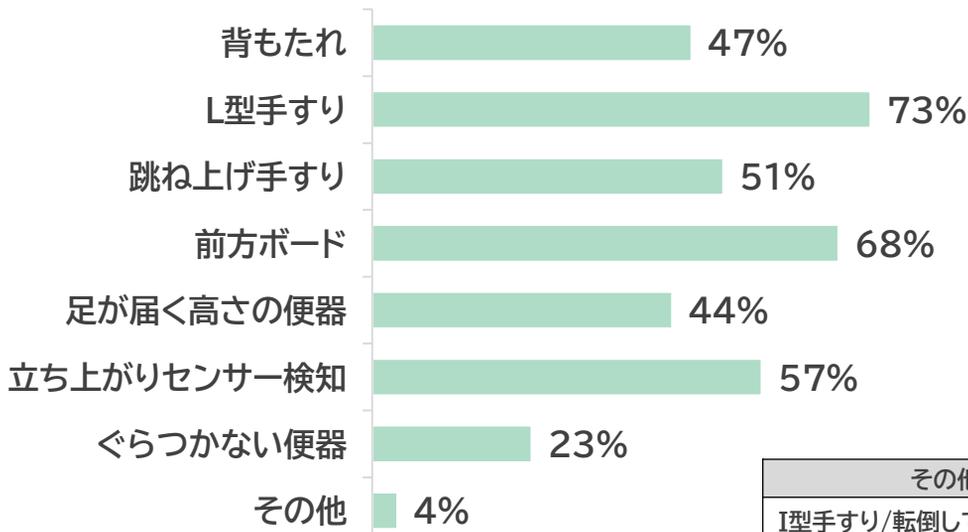
トイレのドアの開閉 扉は自立している方には何でもないが、車イス、杖を使用している方には大変。安全に入れる扉がいい。スイッチを押して自動開閉も良いが高齢者はスイッチ操作がわからなくなる。車イス乗車では壁面スイッチは正面からは手をのばしてやっとということもあり届きにくい/感染対策に適していない/NSコールを水洗ボタンと間違えて押す/尿量測定用のトイレがない/ウォシュレットノズルの清掃/手すりが左右にある/マヒがある患者様によってトイレの向きがあるので、両方の面からできるトイレがあると良い/トイレのドアが重い/介護バーの設置や場所/補助具が不十分/古い/特になし/ウォシュレットが汚い/出入口ドアが一部ありあけにくい/転倒、転落の危険性/床がタイルのため清掃しにくい、暗い

Q. 患者の「トイレ内での転倒」についてどのように思うか



n=100

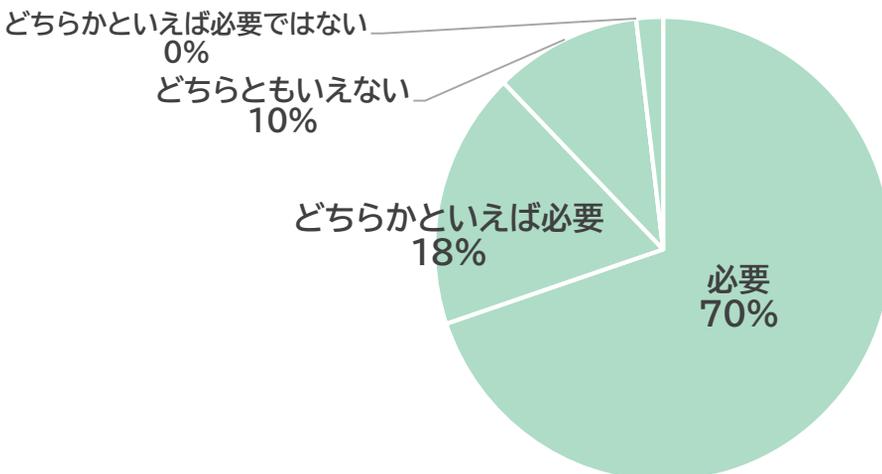
Q. トイレ内の転倒対策として有効と考えられるもの（複数回答）



n=107

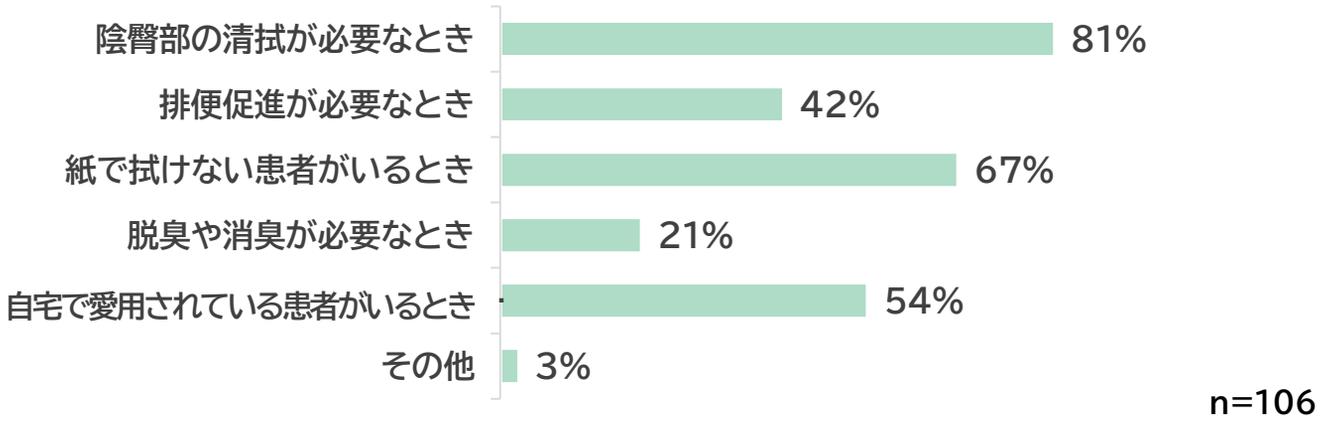
その他の回答
I型手すり/転倒しても大丈夫という環境/床材

Q. 温水洗浄便座の必要性



n=106

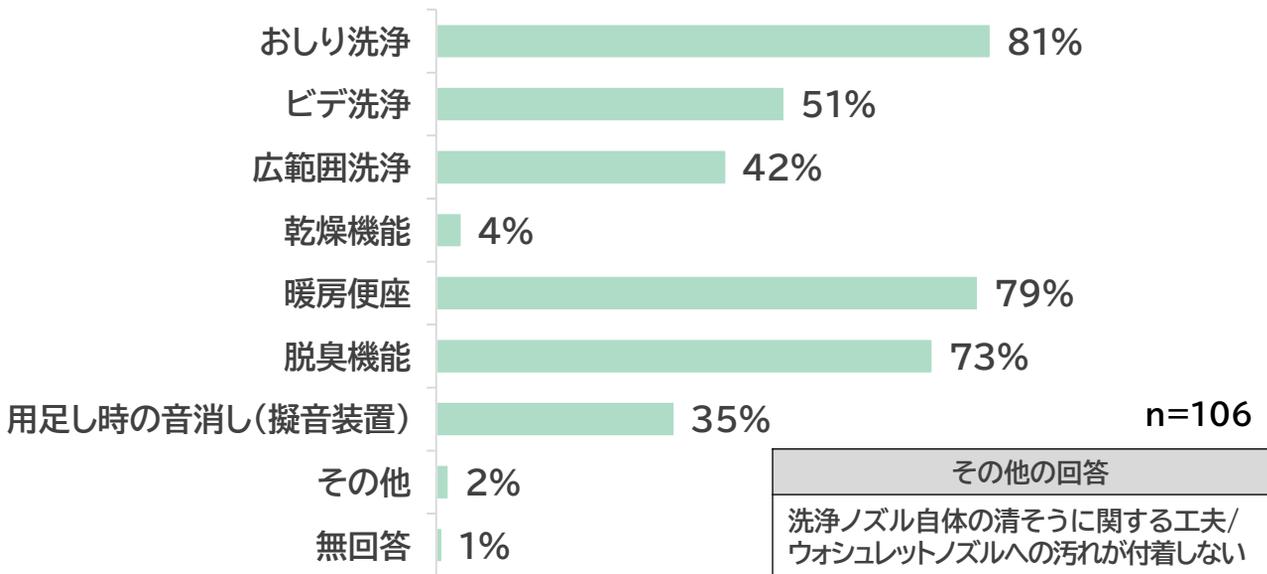
Q. 温水洗浄便座が必要なケース（複数回答）



その他の回答

痔ろうのある患者/ウォシュレットはスタンダード、設置されていてあたりまえの時代

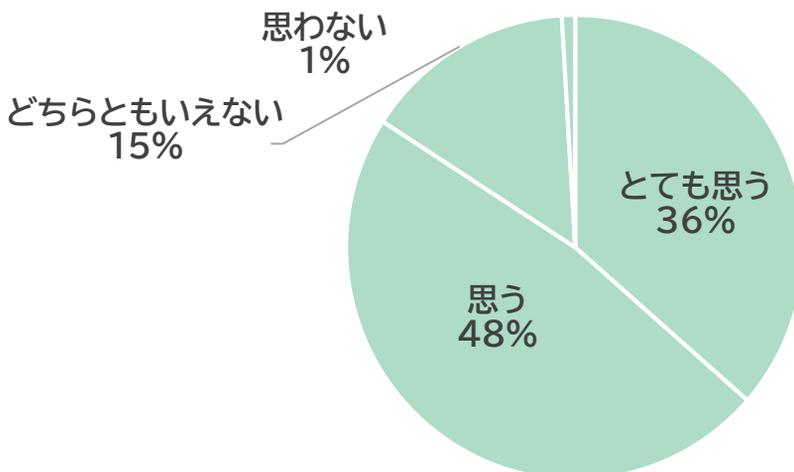
Q. 温水洗浄便座にあると嬉しいと思われる機能（複数回答）



その他の回答

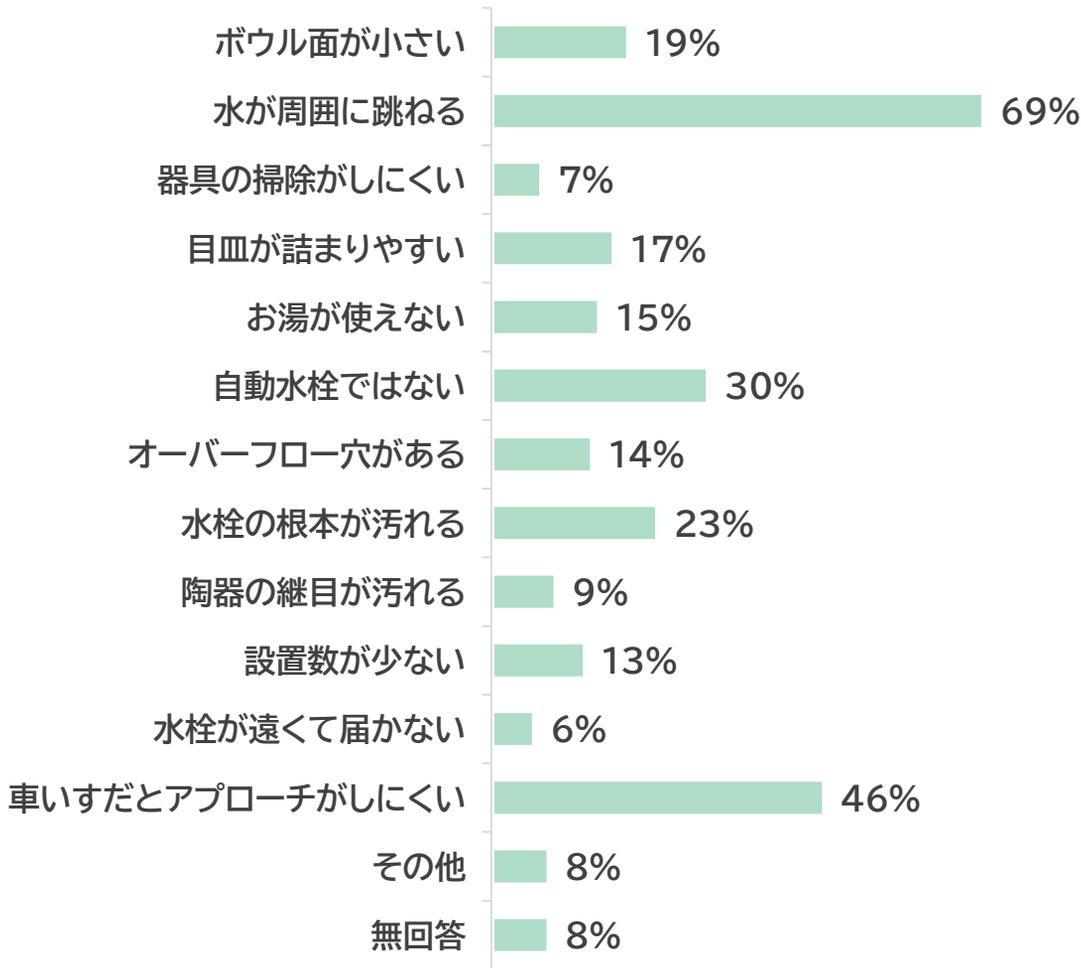
洗浄ノズル自体の清そうに関する工夫/ウォシュレットノズルへの汚れが付着しない

Q. 自動水栓は感染対策に有効だと思うか



n=107

Q.患者用洗面器の問題点（複数回答）

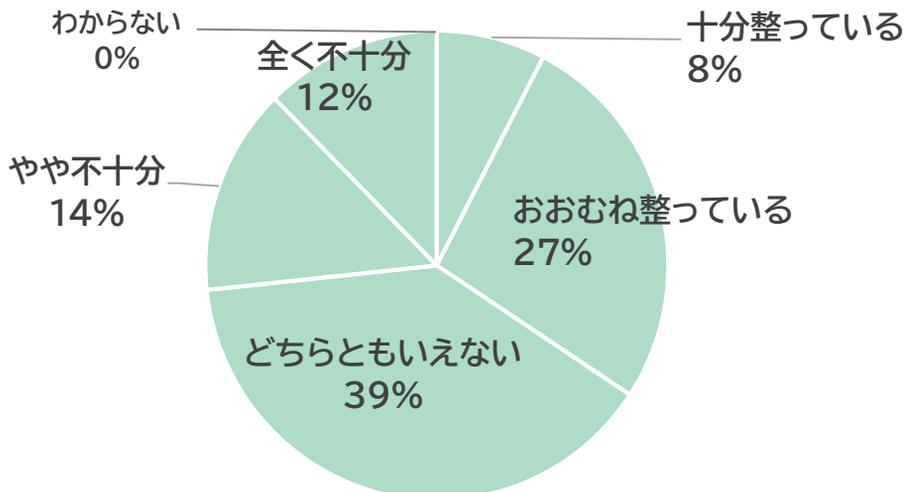


n=99

その他の回答

手拭きペーパーが捨てにくい/茶しび等残りやすい、水流が弱い、ハンドソープやペーパータオルが使用しにくい/ペーパー、シャボン、その他の置き場所/カビが生えやすい/流量が少ない/H19に新病院に移転しているので、現在は問題ない

Q. 災害対策について十分な準備が整っているか



n=105

その他の回答

事例紹介等が沢山あると参考になります。

トイレトイレットペーパーをはずして収集してしまう高齢者がいるのですが、ペーパーの管理を工夫できる方法(設備的に)。

既存の狭いスペースを少しでも広く使う為の工夫。

トイレ内の転倒防止対策が当院の課題です。

洗面台排水口の汚染と周囲環境への影響について。

便でよごれても洗浄しやすい広さがあるケースが多い。障害者の介ゴ者が手を入れやすい便器がいるのかとも思える。

設計の時から感染の認定看護師が便器を壁掛けタイプにすることと、手洗いが充分できるような、手洗いシンクを選んで、それにしてもらいました。設計が重要だと痛感しました。

ポータブルトイレを使用せずできるだけトイレでの排泄を促す方法について。

トイレや浴室等ADL介助を要する場所が患者様だけでなくスタッフが介助しやすい仕様であると事故防止の一助となります。

築60年が経過しているためハード面で問題が多い。

トイレ内の転倒、危険行為が少なくないので立ち上がりセンサー検知は予防策として効果的だと思います。

建て物が古いので「立ち上がりセンサー」が取り付けられないのが残念です。

精神科のトイレは他課に置けるようなポンプ式の石けんやアルコール消毒が置けません。(患者さんが飲む危険があるため)感染対策に悩んでいます。

手術エリア、IWエリアなど急性期病院の水まわり、内視鏡洗浄室の工夫など。

アンケートが今后に少しでも役立てばと思っております。

災害対策(特に令和1年に大変問題になった水害に焦点を当てたもの)。

精神科ではWCブース内で縊首することもあるため、ヒモがかけにくい工夫などがあると助かります
廊下からトイレまでの段差がある(バリアフリーではない)、臭気があり換気が悪い、尿石の除去に苦労している。

当院建て替えを検討しており、大変参考になりました。Vol17.18共に。